

第 2 回策定委員会資料(R2.1.29)

資料（議題（5）関係）当日資料

「敬老会事業費補助のあり方について」

1 本委員会での意見交換の目的

各地区で開催される敬老会に対して、老人福祉事業の一環として補助金を交付している。近年、福祉全般の課題が多岐に渡るようになり、課題への取り組みと財源確保の優先度を検討する中で、本補助金の効果的なあり方について、検討する必要が生じてきた。

このため、主催者側の地区社会福祉協議会にアンケートを実施し、また、幅広い意見を聴取するために、社会福祉審議会及び本委員会にて意見交換を行うこととした。

2 敬老事業費補助の概要について

①補助制度の概要

趣 旨：長年にわたり社会に尽すいされてきた高齢者を敬愛し、その長寿を祝うための敬老会その他の集会を開催する事業に対し交付するもの。

補助対象者：地区社会福祉協議会、市長が適当と認める者

補助額：以下のいずれか低い額

- (1) 敬老対象者の人数×市長が予算の範囲内で定める単価
- (2) 敬老事業費の総額 — (飲食その他これに類する経費)

②補助内容と補助単価の推移・・・P 4

③令和元年度の補助実績・・・P 4

【補助対象者】	満76歳以上	18,063人
【市長が定める単価】	700円/人	
【補助総額】	12,644,100円	
【平均出席率】	19.1%	

3 敬老事業費補助金の課題について

①敬老会員は平成5年には約9,000人だったが、現在は約18,000人。

今後10年間も増加が続くため、市・地区社協とも財政確保が困難になる。

②高齢者の社会参加・外出機会のきっかけづくりのために補助を行っているが、出席率が約20%程度であり、本来の目的に沿うものなのか。

③地域が抱える福祉課題は様々なので、地域の実情に応じた補助制度を望む意見が出てきた。

④会場確保、経費、事務的負担の問題により、集会式の敬老会から記念品配布が主となる地区が出てきており、本来の趣旨とかけ離れてきた。

4 令和元年11月実施のアンケート結果について・・・P 5

おもな結果

- ①毎年開催しているか？ はい 25地区
いいえ 2地区（2年ごとに開催、開催中止）

②どのような開催方式？ 集会式 23地区
それ以外 4地区（記念品のみ配布、自治会ごと）

③開催経費について

- ・ 飲食費 3,000円～3,500円（飲食提供地区の78%）
- ・ 記念品代 500円～1,000円（全体の89%）

④今後のあり方について

- ・ 開催方法の見直し⇒ 必要（8地区） 不要（10地区）
- ・ 経費の見直し ⇒ 必要（12地区） 不要（8地区）

⑤補助対象年齢の上限 満80歳（51%）

⑥敬老会の継続にあたる課題について（回答数の多い順）

- ・ 経費の捻出が困難
- ・ 出席率が低い
- ・ 事務局の負担が大きい
- ・ 会場の確保が難しい

5 社会福祉審議会（R1.7.30開催）の意見について <抜粋>

- ・ 敬老会や長者番付を楽しみにしている高齢者が多い。補助金が無駄だから敬老会を止めるとするのは、残念に思う人が多いのではないか。
- ・ 80%の欠席者のコミュニティをどうするのが課題。そこにこの補助金が適切に活用されているのか。
- ・ 半日の事業に、地区社協予算の約1/3が使われることが適切かどうか。
- ・ 敬老会に高齢者同士が集うことは大切であるが、そこに地域の人や若い人に関わってもらえることができれば、地域の活性化につながるのでは。
- ・ 補助金を活用して、保健師や運動指導者を雇い、集会所単位での運動指導を行うのもアイデアのひとつ。

6 地区社協会長との意見交換会（R2.1.21開催）について <抜粋>

- ・ 比較的に出席率が高い地区だが、予算と会場までの移動距離の問題から、見直したいと考えているので、各地区の状況を教えてほしい。
- ・ 2割しか出席しないのになぜ開催するのかと言われるが、楽しみにしている人がいる。その一方、まだ元気だから参加したくないという人もいる。会場が300人収容なので、これ以上出席者を増やすこともできないし、経費も値上げとなり苦しいが、地区としては継続したい。
- ・ 各世帯から500円の協力費を頂いているが苦情はなく、これからも継続したい。
- ・ 予算の問題から集会式の敬老会は中止した。年間予算の1/3を敬老会に費やすより、子どもの支援に活用したいと思い、地区内の社協・民生委員・在宅福祉員で協議を行った。
- ・ 敬老会の欠席者や自治会未加入者への対処を考えないといけない。自治会加入率を高めるためにも、町内での見守り活動に予算を使いたい。市も敬老会予算を子

育てや保育の充実に使ったらどうか。

7 アンケートと意見交換会からの検証

- ・敬老会の意義は十分理解しながらも、地域の実情に応じて子育て支援、防災、ひとり世帯高齢者の支援等、柔軟な補助金を求める意見が出てきた。
- ・高齢者世帯の見守り、身近な通いの場、介護予防などの高齢者福祉の充実が求められる中、半日の事業に1,200万円を補助することが有効な施策であるのか。
- ・市が補助金を廃止すれば、横並びで敬老会を中止できるという意見もあるが、約2/3は敬老会を存続すべき、またはどちらともいえないという状況の中、一方的に補助金の打切りはできないと考える。
- ・敬老会は地域の伝統行事となっており、楽しみにしている人も多く、また運営する地域の熱意もあるので、その思いを汲み取るにはどうすべきか。



○補助内容を見直しながら補助を存続したほうがいいのか。

○地域の実情に応じた柔軟な補助制度の創設を検討したほうがいいのか。

8 意見交換

①敬老会補助内容(5年ごとの推移)

年度	対象年齢	人数(人)	単価(円)	備考
S55	75歳	5,284	1,500	新75歳596人×1,050円(重箱)
60	75歳	6,671	1,500	新75歳742人(米子だるま)
H元年	75歳	7,898	1,500	新75歳846人(米子だるま)
5	75歳	9,221	2,100	新75歳900人(米子だるま)
10	75歳	11,620	2,100	新75歳1,236人(米子だるま)
13	かぞえ76歳			対象年齢の引き上げ
15	かぞえ77歳	12,085	1,800	対象年齢の引き上げ
20	かぞえ77歳	15,083	500	
25	かぞえ77歳	16,877	700	
30	かぞえ77歳	17,703	700	

※平成10年までの75歳が満年齢かかぞえ年なのか不明

②単価改定

年度	変更内容
H2	1500円→1800円
4	1800円→2100円
12	2100円→1990円
13	1990円→1900円
14	1900円→1800円
16	1800円→1300円
17	1300円→1250円
18	1250円→1150円
19	1150円→700円
20	700円→500円
21	500円→700円

③平成20年度以降の補助額一覧

年度	該当者人口	会員数(人)	会員加入率(%)	平均出席率(%)	補助金額(円)
20		15,083		27.5	7,541,500
21		15,414		27.9	10,789,800
22		15,690		27.3	10,983,000
23		16,020		26.7	11,214,000
24		16,445		28.5	11,511,500
25	19,042	16,879	88.6	24.3	11,815,300
26	19,224	16,997	88.4	24.8	11,897,900
27	19,467	17,170	88.2	25.9	12,019,000
28	19,907	17,353	87.1	23.1	12,147,100
29	20,362	17,531	86.1	20.9	12,271,700
30	20,835	17,703	84.9	20.0	12,392,100
31	21,289	18,063	84.8	19.1	12,644,100

補助額500円

補助額700円

※会員は自治会加入者。加入率も年々下がっている。

※2020年～25年にかけて団塊世代が75歳に到達するため、会員数も急増する見込み。

敬老会に関するアンケート集計結果（令和元年11月実施）

回答：27地区社会福祉協議会長

設 問	回 答	回答地区数	割 合	内 訳
（１）敬老会の開催方法について				
①毎年開催していますか？	はい	25	93%	
	いいえ	2	7%	
②開催方法は？	地区全体	24	89%	
	各自治会	2	7%	
	その他	1	4%	今年より中止
③どのような開催方式ですか？	集会方式	23	85%	
	記念品のみ配布	2	7%	
	その他	2	7%	自治会単位で集会または記念品配布
④欠席者の記念品は、どなたが配布されますか？ （複数回答あり）	自治会長	19	70%	
	民生委員	4	15%	
	在宅福祉員	6	22%	
	事務局職員	0	0%	
	その他	6	22%	地区福祉員、班長（2）、社福理事（3） 女性部
（２）開催経費について				
①市からの補助金以外の財源は？ （複数回答あり）	社協会費	13	48%	
	各世帯の負担金	17	63%	100円（1）、200円（3）、250円（2） 300円（4）、500円（2）、600円（1） 800円（2）、850円（1）、1000円（1）
	その他	9	33%	参加費徴収（2）、寄付（2）、香典（2）、その他（3）
②飲食（会席・弁当）を提供している場合、単価はいくらですか？	800円（1）、900円（1）、2000円（1）、3000円（10）、3300円（2）、3500円（6） 4000円（2）、食事なし（2）、自治会で任意（2）			
③記念品の単価はいくらですか？	500円（5）、700円（6）、800円（4）、1000円（9）、1200円（1）、2000円（1） 自治会で任意（1）			

(3) 敬老会員名簿について				
①市から提供している敬老会対象者名簿（個人情報）は活用していますか？	はい	22	81%	
	いいえ	5	19%	
②どのように名簿を作成していますか？	自治会長に依頼	24	89%	
	回覧で募集	3	11%	
	その他	1	4%	社協役員(1)
③敬老会員名簿の掲載について、本人または家族の同意を得ていますか？	はい	20	74%	
	いいえ	5	19%	
	わからない	2	7%	
④敬老会対象者・出席者以外に、名簿の公表や配布をしていますか？	はい	3	11%	自治会長(2)、社協代議員(1)
	いいえ	24	89%	
⑤市からの個人情報の提供がなくなった場合、名簿の作成は続けますか？	はい	18	67%	
	いいえ	4	15%	
	わからない	5	19%	
⑥名簿の作成方法の見直しを検討していますか？	はい	2	7%	
	いいえ	19	70%	
	今後検討する予定	5	19%	
(4) 今後の敬老会のあり方について（現時点での考え方で回答してください。）				
①開催方法（経費以外のこと）について、見直しの必要があると思いますか？	はい	8	30%	
	いいえ	10	37%	
	どちらともいえない	9	33%	
「はい」と回答した地区のみ				
②現在、開催方法の見直しについて、検討していますか？	はい	4	15%	
	いいえ	4	15%	
③経費について、見直しの必要があると思いますか？	はい	12	44%	
	いいえ	8	30%	
	どちらともいえない	7	26%	

「はい」と回答した地区のみ ④どの経費の見直しが必要だと思いますか？ (複数回答あり)	会場費	3	11%	
	飲食費	7	26%	
	記念品代	4	15%	
	世帯からの拠出金	3	11%	
	その他	3	11%	バス代(2) 市全体で開催をやめてほしい(1)
⑤現在、補助対象の年齢を満76歳(かぞえ年77歳)としていますが、引き上げるならば何歳が上限だと思いますか？	76歳(1)、77歳(2)、78歳(3)、79歳(1)、80歳(14)、88歳(1) 未回答(5)			
⑥敬老会を開催する意義として、当てはまるものを選んでください。 (複数回答あり)	高齢者の楽しみ、生きがいがづくりに役立っている	22	81%	
	高齢者の外出機会になっている	17	63%	
	住民の敬老の念を醸成する機会になっている	8	30%	
	住民が運営に参加することにより、地域の活性化につながっている	13	48%	
	参加のとりまとめ段階で、自治会加入の促進ができる	2	7%	
	名簿の作成により、地域の実情の把握ができる	16	59%	
	その他	4	15%	年々参加者が減っている。 上記の効果はあるが、敬老会以外にすべきことがある。 地域の福祉の心を育てる。 高齢者への敬意感謝を表す。

⑦敬老会事業の継続にあたり、課題だと思われるものを選んでください。 (複数回答あり)	経費の捻出が困難である	17	63%	
	出席率が低い	16	59%	
	会場の確保が難しい	7	26%	
	名簿の作成が困難である	2	7%	
	運営協力者の確保ができない	1	4%	
	事務局の負担が大きい	12	44%	
	苦情対応に苦慮している	0	0%	
	参加者の輸送手段に苦慮している	6	22%	
	その他	2	7%	予算的に困難。新会員の出席率低下。
特に課題はない	0	0%		

自由意見	<p>補助金を継続希望 (2)</p> <p>敬老者とのコミュニケーションの場なので、継続したい。</p> <p>公民館主催で伝統があるので、今後も継続したい。</p> <p>敬老感謝の言葉を記したものを市全体に配布し、敬老会の開催は中止しては、1人暮らし高齢者への支援に財源を活用すべき。</p> <p>高齢者への敬意感謝を示す事業が敬老会補助金しかないのは、疑問である。</p> <p>敬老会を何のために開催するのか、根本的な部分も含めて早急に検討すべき。</p> <p>敬老会の財源で、在宅福祉員の報酬の引き上げをしてほしい。</p> <p>地区社協の経費をサロンや子育て、見守り等の地域福祉の充実に活用したい。</p> <p>自治会単位で敬老事業を行っているが、会を開催するのは半数なので、開催率を上げたい。</p> <p>ふるさと納税を財源としてはどうか。</p> <p>77歳以上に300円助成にすれば、高齢者対策にも有効。</p> <p>世帯からの負担金を値上げするのは困難。</p> <p>対象年齢を引き上げるなら、補助金を増額してほしい。</p> <p>必要経費の増加と会場確保が困難になっているので、集会方式を見直す時期が来ている。</p> <p>敬老会の見直しや活性化を図るやめに、市・市社協にはこのようなアンケートを実施し、タイムリーな情報を提供してほしい。</p> <p>出席率について、向上を図るべく分析検討を進めている。</p> <p>名簿作成については、個人情報観点から見直しが必要との意見もある。</p>
------	---